



学校だより

9月号 407号

教育目標：自分が好き 友だちが好き まちが好き 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

子どもたちの学びを止めない

校長 金森 孝子

セミの大合唱の中、前期後半が始まりました。日本の夏の風物詩とはいえ、いろいろな種類のセミの鳴き声が重なると、それだけで気温が何度も上昇するような気がしてきます。今週からは、給食や掃除、午後の授業も始まりました。新しい生活様式に加え、熱中症対策が必須な中、いろいろな制限を理解し受け入れて生活し学習する子どもたちの姿に、励まされる毎日です。WITH コロナの中で生活することが当たり前になり、マスク着用、手洗いもしっかり定着した感がありますが、感染拡大が高止まりを見せている今、学校での過ごし方に一層の工夫と継続が求められています。

夏休み明け、全学級ごとに参加者を募り、学校とご家庭をつないでの「オンライン体験」を実施しました。横浜市立学校として使用が許可されているテレビ会議システム「ZOOM」用い、「端末で担任と児童とで双方向のやり取りが体験できる」ことを目標に取り組みしました。万一の臨時休校を想定しながら、現段階の学校の整備状況でできることを実施しました。学校の回線1つを各クラス20分で順に使用しての体験だったため、内容的には十分ではありませんでしたが、多くのオンライン授業の可能性、実施する上での課題に気づくことができました。実際に、多くの子どもたちの声がタブレットを通して聞こえ、クイズなどを通して担任とのやり取りを楽しんでいる様子が見え、国の「GIGA スクール構想」では、令和2年度までに高速大容量の通信ネットワークがすべての学校に完備されるということです。今回の「オンライン体験」を足掛かりに、ICTを活用した学びの可能性をさらに広げていけたらと願っています。

アフターコロナの時代は、ビフォーコロナの時代には戻れないと言われています。今は、感染拡大防止のための取り組み、第2波を見越しての「子どもの成長のための教育活動」について、学校、家庭、地域が情報を共有しながら、同じベクトルのもと進んでいくことが必要だと思いますが、共にその時代を乗り越えることで、変えられること、獲得できることが必ずあると信じています。WITH コロナでも、子どもたちの学びを止めない、より価値ある教育活動を構築できるよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。



【今後の行事予定】

様々の状況を想定しつつ、選択肢を複数考えて決定し進めていきます。今後の予定について、現段階の変更事項や選択肢をお伝えいたします。

行事	日程	内容等
運動会 (山田スポチャレ)	10月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 平日午前開催 雨天順延 低中高学年別に時間を設定し、保護者1名の参観 徒競走、演技を実施 児童は、開会式・閉会式、他の学年の演技等を、ネット等を活用して教室で観戦 ZOOMによる保護者の観戦を模索中
修学旅行(6年)	11月中旬 (13日(金)前後)	<ul style="list-style-type: none"> 日光(栃木県)から鎌倉(神奈川県)へ、旅行先の変更(決定) 中止、実施(宿泊、日帰り等)の決定は、9月末 詳細は、9月初旬配付のお知らせで
体験学習(5年)	11月中旬 (11日(水)前後)	<ul style="list-style-type: none"> 西湖(山梨県)から上郷(横浜市)へ、場所の変更(決定) 宿泊、日帰り等の決定は、9月末 日帰りの場合、さらに場所変更等もあり。 詳細は、9月初旬配付のお知らせで

イネ 稲穂が出始めています(8/25)

